

6章 確率

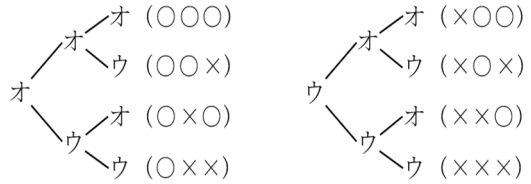
組 番 名前

3枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚が表になる確率を求めなさい。

解答 起こりうるすべての場合は8通りあり、どの場合が起こることも同様に確からしい。

このうち2枚表が出るのは3通り

したがって、求める確率は $\frac{3}{8}$



- 1 ジョーカーを除くトランプ52枚から1枚ひくとき、次の確率を求めなさい。
- (1) ダイヤが出る確率
- 3 ① ② ③ の3枚のカードがあります。このカードを並べて3けたの整数をつくる時、できる整数が4の倍数になる確率を求めなさい。

(2) 絵札が出る確率

- 2 大小2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

(1) 出る目の数の和が5の倍数になる確率

(2) 出る目の数の和が5の倍数にならない確率

(3) 出る目の数の積が8以下になる確率

▶チャレンジ

- 4 赤球3個、白球2個を入れた袋から球を1個ずつ2回取り出すとき、1回目に赤球、2回目に白球を取り出す確率を、次の場合について求めなさい。

(1) 1回目に取り出した球を袋に返して2回目を取るとき

(2) 1回目に取り出した球を袋に返さないで2回目を取るとき

P.61 4章 平行と合同 [1]

- 1 (1) $\angle x = 100^\circ$
 (2) $\angle x = 87^\circ$, $\angle y = 51^\circ$
 (3) $\angle x = 78^\circ$
 (4) $\angle x = 45^\circ$, $\angle y = 45^\circ$
 (5) $\angle x = 65^\circ$, $\angle y = 115^\circ$
 (6) $\angle x = 55^\circ$, $\angle y = 125^\circ$
 (7) $\angle x = 66^\circ$, $\angle y = 53^\circ$
 (8) $\angle x = 61^\circ$, $\angle y = 47^\circ$
 (9) $\angle x = 84^\circ$
 (10) $\angle x = 54^\circ$
 (11) $\angle x = 43^\circ$
 (12) $\angle x = 67^\circ$

P.62 4章 平行と合同 [2]

- 1 (1) $\angle x = 74^\circ$
 (2) $\angle x = 129^\circ$
 (3) $\angle x = 114^\circ$
 (4) $\angle x = 27^\circ$
 (5) $\angle x = 60^\circ$
 (6) $\angle x = 52^\circ$
 (7) $\angle x = 36^\circ$
 (8) $\angle x = 132^\circ$
- 2 (1) $\angle x = 117^\circ$
 (2) $\angle x = 109^\circ$
 (3) $\angle x = 51^\circ$
 (4) $\angle x = 118^\circ$
 (5) $\angle x = 81^\circ$
 (6) $\angle x = 79^\circ$
- 3 $\frac{a}{2}$

P.63 4章 平行と合同 [3]

- 1 (1) 74° (2) 113° (3) 120° (4) 61°

2

	内角の和	内角	外角
正五角形	540°	108°	72°
正六角形	720°	120°	60°
正八角形	1080°	135°	45°
正九角形	1260°	140°	40°
正十角形	1440°	144°	36°

- 3 (1) 十二角形 (2) 二十四角形
 (3) 正十五角形 (4) 正三十六角形
 (5) 正四十角形 (6) 正二十四角形
- 4 (1) 140° (2) 145°

P.64 5章 三角形と四角形

- 1 (1) $\angle x = 63^\circ$
 (2) $\angle x = 70^\circ$, $\angle y = 40^\circ$
 (3) $\angle x = 115^\circ$
 (4) $\angle x = 110^\circ$, $\angle y = 70^\circ$
 (5) $\angle x = 65^\circ$, $\angle y = 65^\circ$
 (6) $\angle x = 95^\circ$
 (7) $\angle x = 28^\circ$, $\angle y = 54^\circ$
 (8) $\angle x = 72^\circ$
 (9) $x = 16\text{cm}$, $y = 12\text{cm}$
 (10) $x = 3\text{cm}$, $y = 5\text{cm}$
- 2 $\angle x = 105^\circ$
- 3 36°

P.65 6章 確率

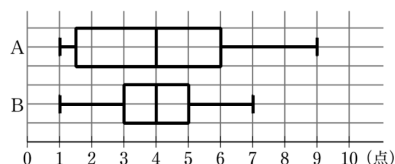
- 1 (1) $\frac{1}{4}$
 (2) $\frac{3}{13}$
- 2 (1) $\frac{7}{36}$
 (2) $\frac{29}{36}$
 (3) $\frac{4}{9}$
- 3 $\frac{1}{3}$
- 4 (1) $\frac{6}{25}$
 (2) $\frac{3}{10}$

P.66 7章 データの比較

1 (1)

	A 中学校	B 中学校
第1四分位数	1.5 点	3 点
第2四分位数	4 点	4 点
第3四分位数	6 点	5 点

- (2) A チーム 4.5 点
 B チーム 2 点
- (3)



- (4) 箱ひげ図で、A 中学校のほうが B 中学校より箱の横の長さが長く、また、ひげの長さも長いから、A 中学校のほうがデータの散らばり具合が大きい。